

# 歩きの効用再確認 倉吉で直前 フォーラム

2009. 6. 6



ウォーキングの効用や役割などについて話すパネリストら＝5日、倉吉市のホテルセントパレス倉吉

康づくりを地域の文化として定着させたい。ふるさとを生きか、健康づくりに最

適なのがウォーキングだ」と強調。村山会長は「歩くことによって失ったものに気が付く。ウォーキングはまちづくりや社会づくりに大きな役割を持つ」とアピールした。

県中部地区を舞台に行われる第9回日本海未来ウォーク開催を記念した直前フォーラム「ウォーキング立県TOTTORIをめざして」(NPO法人未来、県中部医師会主催、新日本海新聞社など後援)が5日夜、JR倉吉駅前のホテルセントパレス倉吉で開かれ

た。参加者は歩くことの効用を再確認し、日本一の健康県づくりに向けて認識を深めた。フォーラムには約1

00人が参加。韓国・大韓ウォーキング連盟の李康玉理事長が、原州市ウォーキング運動の現状と題して基調講演し、「日本の大会を参考に各種大会を開くことで、地域の発展にもつながっている」と紹介した。

この後、李理事長と平井伸治県知事、日本ウォーキング協会の村山友宏会長の3人をパネリストにシンポジウムが行われた。

平井知事は「県は健